

# 慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2014年7月25日発行

## 学生チーム 活動報告・お知らせ

### 春季シーズンについて

一部リーグ残留を果たして迎えた 2014 シーズン。春季シーズンの KCRF 交流戦では 2 勝 2 敗という結果となりましたが、秋の学生クラブ選手権に向けて、新監督や新たなメンバーと共に暑い夏を熱く駆け抜け、一回りも二回りも大きく成長することを期待しています！

今年度、現役チームを支える新首脳陣からコメントをいただきました。

### ●戦績・試合予定 (KCRF・他)

4/20	vs JSKS OB チーム	36- 29	○	JS 祭
4/29	vs 慶應義塾体育会蹴球部	0- 28	●	AKRC
5/ 6	vs 法政 FRB	61- 5	○	KCRF
5/18	vs 早大 GWRC	48- 26	○	KCRF
5/25	vs 明治 MRC	23- 35	●	KCRF
6/ 1	vs 慶應 BYB	14- 57	●	KCRF
6/22	vs 慶應 BYB①	0- 36	●	セブンス
"	vs くるみ	15- 7	○	セブンス
"	vs 早大 GWRC②	33- 7	○	セブンス
6/29	vs 同支社 H&T	45- 7	○	定期戦



### ●新首脳陣からのコメント

#### 山本 ニコラス (主将)

本年度主将を務めさせていただく山本ニコラスです。今年の目標は、シーズンで 3 位以内に入り、最後のトーナメント戦に出場することです。昨年は初めて経験する一部の舞台で、それまで戦っていた二部のチームとの力の差を感じる 1 年でした。とくに、接点で相手に負けることで相手に主導権を握られた試合が多かったので、今年は接点で勝てるチームを作りたいと考えています。我々はラグビーが上手いチームではないですが、「ウサギとカメ」のカメのようにコツコツ努力をしていきたいと考えています。



# 慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2014年7月25日発行

## 山崎 勇典（副将）

2014年度の副キャプテンを務めます山崎です。今年は、楽しくラグビーをして、更にその上で勝てるようなチームを作っていきたいと思います。その目標の達成の為、去年の反省を活かし、チーム内のコミュニケーションを密にし、細かいところまで気を配ることが必要と考えています。個性あふれる JS のメンバーをまとめる事はたやすいことでは無いと思いますが、12月にいい結果を残せるよう善処していく所存ですので応援宜しくお願いします。



## 山口 健（主務）

2012年度、チーム一丸となって目標であった二部リーグから一部リーグの昇格を果たし、ついにスタートラインに立った昨年。ですがそこで一部リーグでの厳しさを経験しました。今年は去年の悔しさを噛み締め、更なる結果を残したいと思っています。私はプレーヤーとしてチームに貢献する一方、主務としてチームになにが必要かを考え、更なる向上に力を注いでまいります。そして、少しでもチームのため、勝利のために行動し、貢献して行きたいと考えております。今年は先輩方の残してくれた経験を活かし、勝利の年にしていきます。



## 《夏合宿のお知らせ》

本年度の夏合宿は、以下の日程で実施いたします。

一次合宿では OB 戦、二次合宿では東西交流戦への参加を予定しています。

一次合宿：8月13日（水）～8月17日（日）

二次合宿：8月26日（火）～9月1日（月）

宿泊先は、例年通り「リゾートハイランド美やぎき」です。

<http://www.sinsyu.or.jp/~miyazaki/index1.htm>

## OB チーム 活動報告・お知らせ

### 春季シーズンについて

昨シーズンから神奈川県社会人クラブリーグ部に昇格した OB チーム。春季シーズンは残念ながらメンバーが中々揃わない中で苦戦が続き、入れ替え戦敗退となってしまいましたが、秋季シーズンでの巻き返しを期待しています！

今回は、OB チームで奮闘されている松林慶吾さんからコメントをいただきました。

### ●戦績・試合予定（神奈川県社会人クラブ選手権）

5/11	vs 湘南プレイボーイズ	17- 33	●	リーグ戦
5/18	vs 湘南フジ	0- 33	●	リーグ戦
6/ 1	vs J-EAGLES	21- 15	○	リーグ戦
6/ 8	vs クイールクラブ	19- 31	●	リーグ戦
6/15	vs 六郷クラブ	12- 31	●	リーグ戦
7/ 6	vs レッドトレース	0- 77	●	入れ替え戦



### ●OB からのコメント

松林 慶吾（2011 年卒）

こんにちは、2011 年卒業の松林慶吾（FL）です。私は大学からラグビーを始めた事もあり、大学時代は中々出場機会に恵まれませんでした。一昨年の秋に OB チームに参加して以降、試合に出場しています。大学時代は試合に出場するだけで緊張し、思うようなプレーができませんでした。今では“試合に出る喜び”を感じられるようになり、OB チームに参加してよかったと心から思っています。いつまでラグビーができるか分かりませんので 1 練習、1 試合を大事にしていきたいです。

チームの最大の課題は、練習・試合への参加人数不足です。今年の卒業生が参加してくれることで多少は改善される見込みですが、引き続き全員でリクルートしていくとともに、練習・試合に対するプライオリティをチーム内で上げていきたいと考えております。現在現役の方も卒業後は是非 OB チームに参加して、一緒にラグビーをしましょう！引き続き学生チームはもちろんの事、OB チームへのご声援も宜しくお願いいたします。

-----  
OB チームに参加、お問合せは、以下までお願いします。

理事 多田さん→14.m.tada@gmail.com

主務 小西さん→abcd.1234@hotmail.co.jp



## 山崎承一 新理事長挨拶

このたび二島前理事長の後を受けて理事長を引き継ぎます山崎承一です。

私は1970年（昭和45年）に卒業し、爾来44年の月日が流れましたが、このようなかたちでJSKSクラブに関われることはまことに光栄なことであり、その責任の重さに身の引き締まる思いです。

少しでもJSKSクラブのお役に立つことで、JSKSクラブへの恩返しが出来ればと思い、心を新たにしております。

理事長就任にあたり、私の抱負、考えを述べさせていただきます。



山崎承一新理事長

JSKSクラブとはどのような組織団体なのでしょうか。

そもそもクラブとは同好の士が自らの意思と責任において、メンバーからの会費という経済的基盤に立って、独立自尊、何者にも阿らない不羈の精神で信ずるところを行い楽しむ、そのような集まりではないでしょうか。

我々同好の士は、ラグビーを楽しみその真髄を味わいたいという思いがラグビーとの出会いであったと思います。それは昔も今も変わらないものであり、だからこそ85年の歴史が引き継がれてきたのだと思います。世界恐慌の年として歴史に刻まれた1929年に産声を上げ、戦争という荒波に揉まれながらも時代の変遷を乗り越え、85年の星霜を重ねてきました。

いつときの熱気やブームだけで85年の歴史は作れるものではありません。そこには多くのJSマンの熱い思いが幾重にも重なって85年の年輪をかたちづくっています。

設立に携わられた創立時の諸先輩の夢、それを発展させ軌道にのせた諸先輩の熱い思い、そのようにして築かれてきたJS精神・文化を継承発展させてきたOB諸兄、それら多くの先輩達の思いの上に今日がある、ということを学生の皆さんは今一度思い起こしてください。

さて、皆さんがラグビーをする目的はなんでしょうか。“ラグビーを楽しみ、ラグビー精神を満喫したい”という気持ちはラグーマンに共通するものだと思います。思う存分ラグビーを満喫してください。またそれが出来る環境をJSKSクラブは提供します。

学生諸君は自分たちの信ずるところを実行する、それが若さであり、4年間の学生時代の特権です。

ただし、その信じるところを自由に行うには、自主、自律、自己責任などの規律に裏打ちされていなくては放縦に堕してしまいます。その規律に裏打ちされた自由な思考と行動力をJSでの4年間の学生生活で身につけて欲しいのです。

そして社会に出てからも己の信じるところを実践できる人間に成長したいものです。

# 慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2014年7月25日発行

一方 OB の皆さんは自らの体験から、JS での 4 年間の生活をとおして将来の社会生活、人生において大いに得るものがあつたと深く信じています。

それは生涯の友を得ることであり、一人の人間として確たる生き方をつかむことです。

だから OB 達は学生諸君にもそのような果実をかちとってほしいと強く願うのです。

JSKS クラブのメンバーとして生涯の友を得たり、人間として成長するのは、ラグビーに対する真剣な取り組みを通してのみ得られるものであることは、それを経験されてきた先輩諸兄あるいは若手 OB の皆さんの一致する認識だと思います。

真剣な取り組みの場に身を置くには、“なんとしても目的である勝利を達成するのだ”という強い意志をもったチームを作り上げることが肝要であることは自明のことと思います。

強い意志を持ったチームとなるために、個々人が置かれている環境の中で最大限の情熱をラグビーに注いで欲しいのです。そして一生の宝となる果実を自らの手でつかみとって下さい。

強いチームを目指し切磋琢磨していくことで JSKS の伝統は積み重ねられていきます。

OB 諸兄も学生のそのようなチャレンジが可能な環境づくりのサポートをお願いします。

JSKS クラブとして、取り組みたいもう一つのテーマはクラブライフの充実です。

学生時代に JS で過ごす時間の 10 倍、20 倍の長い人生を良き友と楽しく過ごせることは何よりの幸せです。

会員の皆さんに充実したクラブライフを満喫いただけるよう、会員間の交流、ファミリーを含めた交流の輪を広げてまいります。また、学生から OB まで世代を超えた交流を図り、JS 精神・文化の伝統を語り継いでいく仕組みも作ってまいります。

学生、OB、家族が一体となったコミュニティーをつくり、クラブとして社会との関わりを持つことができれば素晴らしいな、と夢を描いています。

ラグビーを通じて、クラブ生活を通じてスポーツマンシップ、フェアプレーの精神を身につけた青年を社会に送り出せるとしたら、これこそラグビーを満喫させてもらっている我々 JSKS クラブが出来る社会への恩返しです。

創立 90 年、100 年に向けて慶應 JSKS クラブを名実ともに充実したクラブに発展できるよう取り組んでまいりたいと思います。OB、学生のみなさんのご協力をお願いしてご挨拶とさせていただきます。



以 上



# 慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2014年7月25日発行

## JS 総会・ラグビー祭開催しました

4月20日（土）、横川グラウンドにて、恒例のJS総会及びラグビー祭が開催され、今年も大いに盛り上がりました。当日欠席された方からのコメントのご紹介および、当日の様様について写真を掲載します。

<総会出欠集計>

会員数	出欠到着	出席数	委任状数
675	206	49 (ハガキ)	63

当日欠席された方から寄せられたコメント（敬称略）

氏名	卒年	コメント
山本 章	1941	医者のすすめにより平成25年5月から小田原の介護保険適用有料老人ホームに入っています。館内だけ杖をもって一人歩きOK、正し一人外出禁止。
星野 明	1950	旅行中のため欠席します
三橋 強	1951	年令相応に病気は持っていますが日常生活は普通の人並みです。
岩瀬 弘	1953	ご苦労さまです。何とか生き延びています。同期の木村。秋野君等が逝き寂しき限りです。祈ご盛会
下村 徹	1953	皆様によろしく。元気しております。
土岐 進之	1954	急病により目下療養中の為欠席します。尚本年度より年会費支払いを止め終身会員とさせて頂きたく。会計殿宜しく。
佐原 富士男	1955	旅行予定に付欠席させて頂きます。
近藤 久二	1956	日本人の男子平均寿命(79.94才)を超え80才になりましたが、毎日会長職として出社しております。ゴルフも毎月2回歩いて廻っております。
安藤 昌廣	1956	家内と二人ぶらぶら暮らしています。
北村 績	1956	未だ現役で働いています(毎日ではないけれど)
下村 了二	1957	「現役の強化策」を第一に考えてほしいと思います。
田中 隆	1958	年令相応の健康はキープして過ごしております。
吉田 欣嗣	1958	JSKS クラブの着実な発展を祈ります。
小貫 慶一郎	1959	・家内が入院中なので失礼します。・皆さんによろしく。
鋒山 丕	1960	元気ですが当日は検査入院の予定ですので出席できません。
浅井 昌信	1960	左肩腱枝断裂により、治療リハビリ中です。ご盛会をお祈り申し上げます。
上田 鉄也	1960	未だ現役です。上野と浅草で刃物屋をやっています。
柴田 捷夫	1960	元気です。諸兄によろしく。

# 慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2014年 7 月 25 日発行

氏名	卒年	コメント
近藤 義雄	1961	50 年程前に JS 名古屋在 OB が軸にと作った名古屋ラグビークラブ・クラスクラシコが 3/2 花園で北海道バーバリアンズに決勝で敗れ、全国クラブチームで準優勝に泣きました。しかし JS の息子は強かった。
服部 眞二	1961	腰痛に悩んでおります。後期高齢者の新人です。
金子 勝美	1962	当日腰の手術で入院中です。
待井 雄介	1962	前立腺ガン(極く初期的)を陽子線治療を 3/24 完了！お悩みの方、経験をお教えします。
久保田 昌弘	1962	孫達に誇れる強い JS を願っています。
荒井 俊作	1963	毎年のことながら風もなく天気の良い日はスキーに(白樺湖ロイヤルにて)明け暮れております。これからは山菜取りが楽しみです。
松島 益夫	1963	今年 2 月に手術し現在家で療養中です。
近藤 正	1964	関西在住 40 年元気しております。
松本 利幸	1965	海外出張の為、出席出来ず、スミマセン。山崎新体制下で楽しく強い JS を育ててください。
川久保 達也	1966	去る 3 月 7 日在京同期 5 人で故道広功君の墓参(佐橋、渡邊、柴田、内藤、川久保)
渡邊 忠貴	1966	昨年 12 月に長年の国司がたたき、ついにヒザにメスを入れ Rugby のグラウンドに立つことが出来なくなりました。
田中 俊夫	1966	ご盛会祈念申し上げます。
内藤 敏彦	1966	元気です。
藤田 幹太	1967	あっという間に古希(70 才)。JS の皆様と楽しく、元気でやっています。
鈴木 堯	1967	また病状が悪化し、体調極めて不良です。皆様の健康を祈ります。
小林 光	1968	不惑倶楽部でラグビーを楽しんでいます。数え年 40 代の若手の方、JSOB チームを卒業したら是非不惑倶楽部に来て下さい。
鵜 勝彦	1970	皆様によろしくお伝えください。
伊藤 健	1971	本年 2 月より、内幸町の富国生命ビル 23 階で千代田化工東京オフィスに勤務していますので、お近くにおいでの際の折りは、お立ち寄り下さい。
大神 正篤	1971	海外出張の為欠席致します。盛会をお祈り申し上げます。
寺戸 義徳	1971	別件があり参加出来ません。花粉症に悩まされている今日この頃ですが、元気で過ごしております。
後藤 元秀	1974	豊前市長に就任した日が昨年 4 月 20 日、丸一年です。議会対策に追われる日々、地域振興のため頑張っています。皆様豊前市を覚えてください。
平井 隆	1975	ヒマながらもまだまだ現役として頑張ります。
徳永 信	1976	御盛会を祈念致します。
嶋田 廣雅	1977	下町で飲み歩いています
西野 顕久	1978	日本の西の端長崎にて今だにラグビーに関わって生活しています。JSOB の方是非長崎にお越しください。
川合 規之	1980	現在、米国勤務なので参加は叶いませんが、幹事役大変でしょうが、宜しくお願いします。

# 慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2014年7月25日発行

氏名	卒年	コメント
関戸 啓司	1980	※あいにく所用にて失礼します。ご無沙汰しております。信州で元気にやっています。菅平の帰りにお寄りください。
田染 健次	1980	大分にくるときはぜひ声をかけてください。
山崎 洋人	1980	幹事の方々お元気ですか、お役目ありがとうございます。
土井 雅史	1981	幹事役ご苦労様です。2月に新橋の居酒屋「さんま」(JSOBの店)で同期会をしました。
三上 幸一	1981	元気です。20日は仕事休めませんでした。盛会をお祈りします。
荒川 衛	1982	FPの仕事が入ってしまったため欠席します。
加藤 俊樹	1984	水泳、ジョギングで体を鍛えています、(残念ながら)ラグビーは観戦専門です。
中崎 徹	1984	米国ロチェスターからシンガポールへ異動になりました。(4/1付)
佐久間 毅	1985	今年1月より三重県に転勤で来ています。盛会を祈念致します。
高松 稔	1990	マンション販売の現場にいます。土日祝日は出勤の為、長年ご無沙汰して申し訳ありません。皆様私の分もお楽しみ下さい。
寺村 勝治	1992	仕事の都合により欠席させていただきます。
増田 貴大	1997	取りまとめご苦労様です。いつも欠席ばかりでご無沙汰しておりますが、毎回会報を楽しく拝読させて頂いております。いつもありがとうございます。これからもJSKSを宜しくお願い致します。
中島 宗一郎	2000	御無沙汰しています。本年4月より米国ニューヨークに駐在となりました。
中村 利紀	2003	1歳の息子の子育てに毎日追われております。親の有難さを日々感じます。
田中 陽介	2005	元気にやっております。昨年1月に二男が産まれております。
武笠 遼	2008	名古屋での生活4年目を迎えました。名古屋では「NGクラブ」という草ラグビーチームに所属しています。4.29出たいのですがなかなか都合が付きません・・・
鈴木 有	2008	鹿児島での勤務も4年が経ちました。残念ながら参加できませんが、また皆様に会えるのを楽しみにしています。
宮本 健史	2010	4月よりメキシコ駐在になりました。メキシコにいらっしゃる折にはご連絡ください。
竹野 翔一	2012	長崎で頑張っています！
下山 隼之介	2014	ご連絡遅くなり、大変申し訳ありません。現在、新入社員研修を受けており、予定が把握できないので欠席いたします。





# 慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKSクラブ会報」

2014年7月25日発行



# 慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKSクラブ会報」

2014年7月25日発行





# 慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKSクラブ会報」

2014年7月25日発行



## 支部だより

今回は中部支部での活動状況をご報告いたします。

### 中部支部より

中部支部では、「JSKS だより」が繋いだご縁（！？）から、早大 GWRC 中部支部 OB の皆さんと合同懇親会を開催されたそうです！

その模様を小澤さんからご寄稿いただきましたのでご紹介します。

#### 中部支部：小澤さん（1978 年卒）

「JS ニュースもついに電子化かあ。よくできているな。内容豊富で。女子マネの貢献度大だし…」と、初回原稿をプリントして、帰宅途中の地下鉄内で読んでいると、「あの～」と横のオッサンに声を掛けられ、「その JSKS ニュースって、もしかしたら、クラブラグビーチームの…」と話が続き、風体から同類と判り、私が「BYB?」と問うと「GW!」。

そうなの。ここからは、話が盛り上がり、「JSKS ってこんなにスゴイ機関紙を OB に配布しているんですか？うらやましい」となったわけ。（ちょっと電子化されたおかげで、プチ自慢できました。）

後日、一緒に飲んで、意気投合。GW の OB は中部地区に 15 名程度在籍しているとのこと。それなら、永遠のライバル同士、合同懇親会を開催しようと企画に至りました。

当日は JS から 13 名、GW から 7 名が参加され、盛大に開催されました。

初めてだけに、自己紹介でも一巡するのに酔いが回りそう。因縁のライバルだから、暴力・イジメ・カツアゲなしでスタート。年代的には JS が昭和 30～50 年代が多く（11 名）、GW は昭和 50～60 年代（4 名）が中心でした。

途中、現役の今年度（2013 年度）の戦績を披露し、お互い一部グループ 5 校内で JS は全敗ドベ、GW は JS から 1 勝のみのブービー状況にガックリ。（名古屋の方言ではビリをドベと呼びます。）

それでも JS は入れ替え戦で一部残留が決定、来年度の活躍に期待と宣言しました。

また、オールド OB からは FRB（法政）が二部落ち、LB（東大）、RF（立教）が消滅している事実に感無量。BYB だけは強いな～。（リポビタン D の威力か）

私見かつ、酔った勢いで言わせていただきましたが、日本ラグビー協会がガバナンスを効かせて、学生クラブリーグ統制を図るのもやむを得ません。ただし、競争社会の原理が名門チームの絶滅に繋がっていくのではないかと悲しくなります。

（東京 6 大学野球において万年ビリの東大に対し、世間は入替戦を要求していません。）

後日、出席者の皆様からは時間が短いとの感想をいただきました。皆様の青春を 2 時間では語れません。今後とも交流を活発化していきたいと思います。



# 慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2014年7月25日発行





## マネージャー列伝

マネージャーを紹介するこのコーナー、今回は現在3年生の現役マネージャー、土肥彩花さんから寄稿いただきました！4年生のマネージャーがいないこともあり、すっかり現役チームに欠かせない存在となって活躍されている様子が伺えます。



### 現役マネージャー：土肥 彩花さん（3年生）

こんにちは。マネージャーを務めさせていただいている、3年生の土肥彩花と申します。

今年は、大変嬉しいことに、多くの新入生が入部してくれたため、現役チームは今、とても活気づいています。プレーヤーは、昨年までは少なかったバックス陣が充実しましたし、マネージャーも2人の新入生を迎え6人となり、試合では人数不足に悩むことなく活動できそうです。

1年生の姿を見ていると、私自身が新入生であった2年前のことが昨日のことのよう思い出されます。私がJSKSに入ったのは、中学・高校と自分がプレーヤーとして活動していたため、プレーヤーをサポートするマネージャーというポジションに興味があり、また、母が好きだったラグビーというスポーツに興味があったからです。

入部当初は、マネージャーの仕事内容がわからないことばかりであっただけでなく、ラグビーのルールさえもよくわかっていませんでした。それまでは、1月に行われる大学選手権の準決勝や決勝をテレビで何度か見たことがあるくらいでした。そのため、チームに加わって最初の試合はJS祭だったのですが、ラグビーの試合を間近で見て、ものすごく迫力があったことを今でも覚えています。そして、ウォーターとして試合中にスクイズを持って走った翌日には、腕が筋肉痛になっていました。今では、何事もなく平気な顔をしてスクイズを運んでいることを考えると、2年間でたくましくなったなと思います。

週に4日（現在は1日ウエイトのため3日ですが）練習や試合があり、多くの時間をJSKSで過ごしています。大学やアルバイト先など、ほかにもコミュニティがある中で、私にとってJSKSはかなり大きな拠り所となっています。やりがいを感じられるだけでなく、同期をはじめ、先輩後輩の学年を越えて仲良くできる環境があるからです。大変なことや、辛いこともありますが、その分楽しいことも多いですし、皆がいるから頑張ることができるのだと思います。

そんな私のJSKSでの大学生活は、早いもので折り返し地点です。これまでを振り返って、とくに強く印象に残っている試合がいくつかあります。それは、1年生では、二部優勝が決まったくみクラブさんとの試合と、一部昇格が決まった慶應理工学部さんとの試合で、2年生



# 慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2014年7月25日発行

では、クラブ選手権での明治 MRC さんとの試合と、一部残留が決定した法政工学部さんとの試合です。1年生の時は、はじめは、一部・二部への思いというのは、私の中では漠然としたものに過ぎず、試合をするなら勝った方がいいという程度のものでした。しかし、シーズンを通して先輩方の姿や、試合でのプレーを見て、強い思い入れを感じ、何としても一部に復帰するんだという強い思いへと変わっていきました。そのため、一部昇格をかけた挑戦権を手にすることができる二部優勝を果たし、そののちに一部昇格を決めた両試合は大変印象強いです。私も大変うれしく思いましたし、みんなの嬉しそうな表情や、当時の4年生の先輩方の安堵の表情は忘れられません。

2年生になると、私の中では、一部でプレーできるというのが、先輩たちが努力してようやくつかんだ舞台であるということを心にとどめてのシーズンスタートでした。夏合宿を終え、クラブ選手権を迎えるにあたり、初戦の対戦相手は明治 MRC さんでした。直前に行った練習試合では、勝っていた相手であり、また、今後勢いに乗るためにも初戦には勝ちたかったのですが、惜しくも敗れてしまい、とても悔しかったです。

その後、力及ばずリーグ戦では全敗を喫してしまい、入れ替え戦を迎えました。来年以降も引き続き一部でプレーするためには、何としても勝たなければならず、試合前は大変緊張したのを覚えています。無事に勝つことができ、喜びと安堵とが入り混じった気持ちでシーズンを締めくくることができました。途中、みんなの頑張る姿と悔しがる姿をたくさん見てきた分、最後は喜びの笑顔が見られて本当に良かったです。

3年目である今年は、どんな年になるのかはまだわかりませんが、目標は、クラブ選手権で決勝トーナメントに進むことです。そのためには、一部のチームは強豪ばかりであるため、容易なことではありませんが、日々試行錯誤しながら、練習しています。目標を達成し、喜びの涙でシーズンを終えられるように、みんなで力を合わせて頑張っていきたいと思います。

最後になりましたが、毎年、多くの OB の皆様に試合や練習にお越しいただいて、応援していただけることを、大変嬉しく思っております。本当にありがとうございます。ご期待に沿えるよう現役部員一同頑張りますので、今後も引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。



## 若手だより



JSKS を卒業後、社会人として各地で活躍する若手 OB をご紹介するこのコーナー、今回は、一昨年、主将を務められていた辻順也さんより寄稿いただきました。

### 辻 順也さん（2012 年卒）

2012 年 JS で主将を務めておりました辻と申します。このたびは現役の皆様メッセージを送る機会を頂いたことを好機と考え、社会人での経験も踏まえて自分なりに感じ学んだ JS の意義を書かせて頂きました。少しでも多くの皆様の心に届き、JS で自立して活動する力になればという想いです。

JS で一番学んだことはブレない心です。言い換えると自分の信じる道・正しいと思う道への推進力、とでもなるでしょうか。

私は金融機関に入り、もうすぐ1年が経とうとしています。学生時代と環境が一変しました。名古屋という自分の見知らぬ土地に行き、知り合いもほとんどいないままお客様を0から作り、取引を増やしていくのが専らの仕事です。正解はありません。日々断られるのが普通で、中できっかけを探し出し、どうしたらお客様に会えるのか、会ったときどう話したら信頼してもらえるのか、しいて言えば正解は自分の中にあります。1年弱というまだ短い期間ではありますが、学生のころのような環境は激変しました。

私も学生時代は遊んだし、無茶もしました。時間があるし、多くの友達ができれば当然です。ただ JS で、特に最後の1年頑張った経験は忘れられません。社会人になった今もその記憶は色濃く残っています。主将になったときの使命は、一部に上がることで、優勝すること。手段に正解はありません。どの練習が効果的か、チームの賛同を得られるか、どうしたら練習の効率性を上げられるか、試合で何が足りなかったか、…課題はたくさんありましたが、チームと対話し、練習を振り返り、相手を知ることしか正解に近いものは得られません。あとはその方向に向かって突き進むのみ。辛かろうが苦しかろうが、その道を信じ、積み重ねたものが結果に繋がったとき、己の自信となり、次への活動力となります。

というのも、一部昇格が決まった時は大きな自信となりました。

紆余曲折はありましたが、結果的に自分の信じた道が正しかったと思えた経験が、ブレない心の土台となって残っています。

仕事では、上司に「商店自営の発想を持て」と常日頃言われています。大きな組織に所属していると、ともすれば他人に甘えがちです。そうではなく、個々の努力が全体を支える、自分の力で組織を引っ張るくらいの生き甲斐を持て、という意味です。それが結果的に、良い結果に繋がります。勿論そのほうが辛いことが多いのですが、その時こそブレない心が生きています。どんなに結果が出ないときでも、自分の努力の方向性に正しさを見出し、継続することを怠らなければ結果は遅れてついてきます。

# 慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2014年7月25日発行

その意味で JS の経験は大きく活かしています。問われる結果は最終的に一部に上がったかどうか。就活と同時並行して活動を開始し、夏は怪我で苦しい時期もありましたが、最後にはやってきて良かったと笑って終わることが出来ました。何事も初めは結果が出ないのが当たり前、そこで怠らず、いかにブレずに継続できるか。そのことを学生にして学べる JS は最高の場所です。

長くなりましたが、これは主将云々関係ありません。上級生下級生も関係ありません。礼儀を重んじつつも、皆がチームのことを考え、発言し行動すればおのずとその組織は活性化し、より強い組織になります。更には OB という強大な支援者がたくさんいます。せっかくこれ程までに恵まれた JS にいるのだから、100%以上の積極性を持って活動することが自分の将来にも繋がってくると思います。ぜひ、現役の皆様には JS で心の芯を作って頂きたいと願っています。



## プロフェッショナル列伝



こちらのコーナーでは、現役卒業後も各地でご活躍されておられるOBの皆さんからの近況報告をご紹介します！

今回は、福岡県豊前市で市長としてご活躍されている、後藤元秀さんより投稿いただきました。

### 後藤 元秀（1974 年卒）

福岡県豊前市の市長に就任して4月でちょうど1年になりました。豊前市といってもJSKSの皆さんには「どんなところ？」って感じではないでしょうか。豊前を「ぶぜん」と読まずに「とよまえ」と読まれた方、東北の方は「とよさき」と読んだ方もおられるのでは、と拝察しています。

豊前市は瀬戸内海の西端、周防灘に面した福岡県内28市で最も人口の少ない2万7千人余の小さな市です。大分県境に位置し、われらが母校慶應義塾の創始者福沢諭翁の育った中津市の隣にあります。

国の天然記念物ツクシシャクナゲの群生する犬ヶ岳、修験道の求菩提山の山峰にいだかれ、緑の大地と豊饒の海からの恵み豊かな地です。かつて筑豊の炭鉱を支えた坑木の荷揚げ港である宇島（うのしま）港があり、石炭火力の時代を経て現在は石油火力のエネルギー基地です。日産自動車九州、トヨタ自動車九州とダイハツ自動車九州の各組み立て工場が市を取り巻くように立地し、豊前市内にも多くの部品関連工場が操業しています。

こんな「田園都市」である豊前市の自慢は豊かな自然を活かした「森林セラピー基地」（国の認定）でのウォーキングや農村民泊。修験道の色彩強い伝統の神楽。さらにエビ、カニ、イカやアサリ、カキなど豊富な魚介類。とくに来年には東九州自動車道が開通し、福岡市と1時間余で結ばれることからこれらの魚介類を水揚げ後に現地で直売、加工、そして食することができる場を整備します。ここが海の六次産業化、豊前の「海の幸の基地」となります。ここでは4百種の魚介類を産する海的环境、魚貝の生態、漁師さんの漁法などが学べる部屋も備えます。

東京都市圏には新宿区の方で進めている江戸野菜の内藤トウガラシ、内藤カボチャとの縁をいただき豊前市の柚子とコラボの柚子コショウなど新作が進出しています。先月は「豊前と江戸の交流会」も実施して豊前を売り込んでいます。これからもJSKSのみなさんとのご縁を活用させていただき、小さな豊前市を大きく育てていきたいと思っています。応援してください。よろしくお願いいたします。



写真は豊前市 HP より



# 慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2014年7月25日発行

## 学年幹事会および OB 講演会のご案内

既に学年幹事を通じてご案内しておりますが、9月6日（土）に学年幹事会および OB 講演会を開催します。多くの方のご参加をお待ちしております。

記

●日時：2014年9月6日（土）15：00～19：30

●内容・場所：

【第1部】学年幹事会（15:00～15:40）慶應三田校舎 443 番

- ・理事長あいさつ
- ・現役監督からの活動報告（佐藤 05 年卒）
- ・OB チームからの活動報告（井之上 10 年卒）
- ・学年幹事からの要望等

【第2部】OB 講演（15:45～17:00）慶應三田校舎 443 番

寺田 勝 獣医師（1990 年卒）特別講演

【第3部】懇親会（17:30～19:30） 「駒八 札の辻店」

●講演会テーマ：「私が選んだ道～銀行員から獣医師へ～」

寺田 勝 獣医師の紹介：

1967年東京生まれ。都立日比谷高校から慶應義塾大学商学部に入學。JSKSに入部。現役時代は CTB、WTB として活躍。6 大学クラブリーグで準優勝に貢献した。卒業後一旦は富士銀行（当時）に入行するも、幼少の頃からの夢であった獣医師を志し退職。岐阜大学獣医学科を経て、2004 年目黒区に「てらだ動物病院」を開院。医療技術のみならず人間関係を大切に日々動物の治療にあたる毎日を送る。

てらだ動物病院 <http://terada-anihos.com/>

てらだ動物病院日記 <http://blogs.yahoo.co.jp/kuromaru1996>

●会費： OB 5,000 円 OG 3,000 円 学生 0 円

●お申し込み：学年幹事会、講演会、懇親会に参加の方は、学年幹事を通じて事務局の富野さんまでお申し込み下さい。



# 慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2014年7月25日発行

## 訃報

1951 年卒（昭和 26 年卒）の瀬尾 昭一様が、去る 5 月 31 日にご病気のため永眠されました。

ここに、故人のご冥福をお祈りし、謹んでお知らせ申し上げます。